

歴史・自然満喫

やまがたし

# 西部マップ

西へ行こう。歴史と自然に触れるふるさとへ……。



Yamagata City Western Map

## 最上義光と長谷堂合戦

### 出羽の虎将 最上義光

時は戦国の世。混乱の時代に、自分が生きる土地を愛し、民を愛し、出羽国に平和と安定をもたらし、現在の山形市の基礎を築いたのが、山形城第11代当主「最上義光」である。山形城の城郭や城下町の整備をはじめ、最上川交通路の整備、さらには庄内平野の開発など、彼の偉業は多方面にわたり、今もなお山形に大きな影響を及ぼしている。また、すぐれた文人でもあり、特に連歌においては数・質ともすぐれた作品を残している。山形の地を語るに彼の存在を欠くことは出来ない。



### 長谷堂合戦

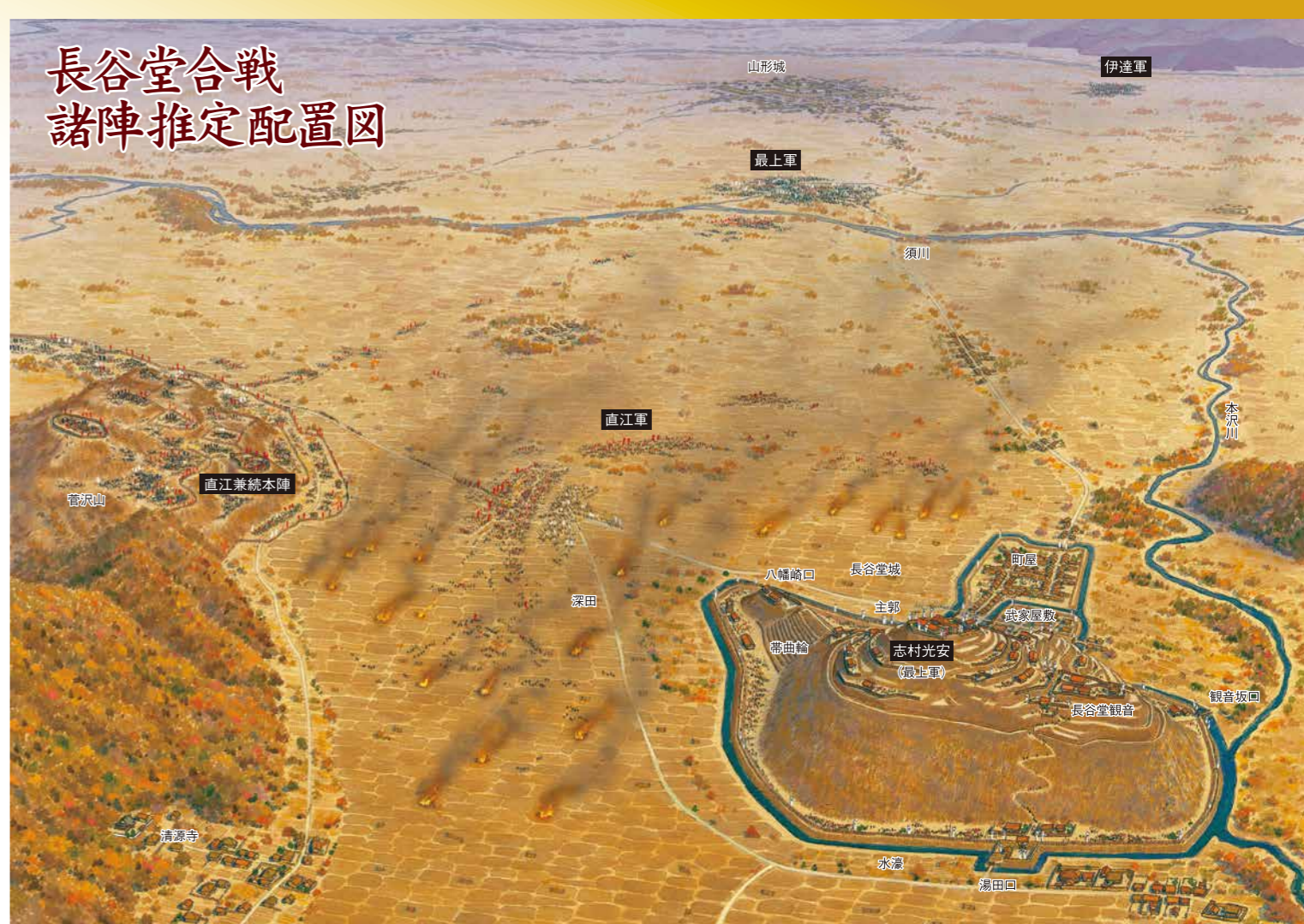
慶長5年(1600年)、天下分け目の戦い「関ヶ原の戦い」が始まった。時を同じくして出羽を舞台に始まったのが「慶長出羽合戦」奥羽の関ヶ原とも呼ばれる長谷堂合戦である。豊臣方の西軍、上杉景勝の重臣直江兼統は2万余りの軍勢を率いて、徳川方東軍の最上義光を討とうと山形を攻めてきた。最上軍はわずか5千余り。(諸説あり)上杉の軍勢は中部・北陸でも連勝を重ねた百戦錬磨の強力軍。勝てる見込みは非常に薄かったはずである。畑谷城を落城させた直江軍は勢いに乗って長谷堂城へと攻め入ってきた。義光はこの城を守るために全力を挙げる。直江軍は3回の総攻撃をかけるが、激しい攻防戦が約半月も続いたころ、上方の戦場関ヶ原では、東軍徳川方の勝利となりその知らせは、出羽合戦の両軍のものにも届いた。両軍ともに一歩も譲らぬ合戦の最中、直江兼統は西軍の敗北を知ると、陣を引き払い退却していった。武勇・学問ともに優れ人望厚い直江兼統の潔い退却は見事なものであったと義光は感心したという。

### 長谷堂城跡

長谷堂合戦の舞台となった長谷堂城は、現在も城山として姿を残している。長谷堂城は山全体に様々な防御施設が施された平山城だった。山の斜面を削って造成し柵を立て敵の攻撃を防衛する部隊をおく「曲輪」や曲輪などへの入り口である「虎口」などの遺構がある。この曲輪や虎口を絶妙に配置することにより敵を惑わす優位に攻撃したのである。

また、城山には貴重な植物も豊富に生育し、自然環境も豊かである。

## 長谷堂合戦 諸陣推定配置図



提供 / 株式会社学習研究社 (イラスト=香川元太郎 監修=菅田慶信 出典=歴史群像シリーズ(決戦関ヶ原))

## おすすめ散策ルート

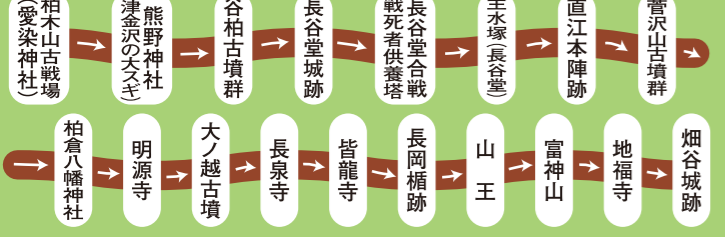
### ～最上のみち～ (所要時間:約4時間)



### ～直江のみち～ (所要時間:約4時間)



### ～古墳と古戦場のみち～ (所要時間:約6時間)



### お問い合わせ

山形市観光物産課	023-641-1212	山形市旅籠町2-3-25
本沢コミュニティセンター	023-688-2310	山形市大字長谷堂1070-1
村木沢コミュニティセンター	023-643-2050	山形市大字村木沢1672-1
西山形コミュニティセンター	023-643-3104	山形市大字柏倉3800
大曾根コミュニティセンター	023-643-2054	山形市大字上反田811-2
南山形コミュニティセンター	023-688-2001	山形市大字松原203-1
山形市観光案内センター	023-647-2266	山形市城南町1-1-1 霞城セントラルビル1階

http://www.kankou.yamagata.yamagata.jp

## お湯ゆったり

●百目鬼(どめき)温泉(問:023-645-9033)  
たんぼの真ん中に湧き出た温泉。東に蔵王連峰、北に月山・葉山を望む風光明媚な環境にある日帰り入浴施設。泉質はナトリウム塩化物温泉。

●黒沢温泉(問:023-688-5885)  
山形市内南西部に位置する温泉。盆地から蔵王連峰を望み、ゆったりとした時間が流れる。泉質は硫酸塩泉。動脈硬化症、きりずき、やけど、慢性皮膚病などに、特に効果があるといわれる。

●沼木温泉 辻ヶ花(問:023-646-2410)  
豊かな田園風景に抱かれた温泉。月山を望み、四季折々の季節を楽しみながら、ゆったりと入ることができる日帰り温泉。泉質はナトリウム塩化物温泉。

●愛染神社の桜  
大字松原にある小高い丘の上にある愛染神社境内のエドヒガンの老木。山形市指定天然記念物。樹齢は650年。

●西公園の足湯(問:023-643-2450)  
緑豊かな公園内にある足湯。公園には、小さな子供から楽しめる遊具や広々とした芝生広場・芋煮広場などがある。源泉の泉質はナトリウム塩化物強塩泉。

●大曾根さわやか荘(問:023-644-0016)  
高齢者のための温泉福祉施設。毎月26日は「ふるの日」として季節の花の花びらやハーブを浮かべると工夫を凝らしたお風呂を楽しむことができる。

### 文化施設・公園

尚古館	山形市二位田門寺境内にあり、考古学、民具資料が陳列され、荷背負いミノコレクションなどかつての農民の暮らしを見ることが出来る。
山形市産業歴史資料館	伝統の山形鑄物の歴史資料展示。山形の地産産業である鑄物・打刀術・陶磁器などの歴史や製造工程などを展示紹介。
西公園	豊かな緑とそこに住むいきものについての環境学習や、緑の中での健康づくりなど、いろいろな活動に利用できる場所を市民の参加によりつくり出し、「みどり・ひと・いきもの」との環を育む公園とした。
山形県 県民の森	県民の健康増進や休養、自然を愛する心を育むために県政100年を記念して昭和56年に造成。森林学習展示館や、家族広場など自然を満喫できる施設がそろう憩いの場。

## 歴史を見つめる 大木たち

●津金沢の大スギ(問:023-688-2868)  
山形市大字津金沢の熊野神社境内にある県指定天然記念物。太さ一番太いところで10.5メートル、高さ33メートルに及ぶ大杉である。

●文殊様の夫婦スギ(問:023-643-2747)  
村木沢にある出塩文殊堂の参道に立つ二株の合生によって出来た杉の奇形木。古来夫婦和合の象徴として縁結びの信仰を集めている。

## 自然の中の可憐な花たち

●出塩文殊堂のあじさい参道

●村木沢小学校の桜

## 「澄んだ空気」、「豊かな水」が育むおいしいもの

さくらんぼ

ラ・フランス

ぶどう

そば

いも煮

青菜漬け

### 観光果樹園・直売所

澄んだ空気と水があって豊かな食材が育ちます。地元には直売所など採れたて新鮮な農産物が購入できるスポットがあります。

●こんのぶどう園(本沢)	問:023-689-9399
●本沢ぶどう村古内果樹園(本沢)	問:023-688-7820
●JAあぐりんやまがたエコーブ本沢直売所(本沢)	問:023-688-5773
●本沢百目鬼温泉直売所(本沢)	問:023-645-9040
●ふる里さくらんぼ園大曾根(大曾根)	問:023-643-4377
●山形地方森林組合(大曾根)	問:023-644-0053
●喜三郎さくらんぼ狩園(南山形)	問:023-688-5885
●渡辺ぶどう園(本沢)	問:023-688-3364

# 長谷堂合戦ゆかりの地

## ① 長谷堂城跡(城山)

山形城の西南約7kmに位置し、標高約230m。ふもとからの高さ、約85mの天然の要害に恵まれた山城。山形城西方の戦略上重要な支城で、長谷堂合戦の際には、最上家家臣の智将志村伊豆守光安が守将を務めた。直江軍2万人に包囲されたが、半月にわたり1千人の少数で頑強に抵抗し城を守った。  
※本沢コミュニティセンターから徒歩5分

## ② 主水塚(長谷堂)

剣豪と呼ばれた直江軍の武将上泉主水泰綱が壮絶な討死を遂げた所。合戦後、村人が主水をはじめ両軍の戦死者の供養を続けてきた。  
※本沢コミュニティセンターから徒歩5分

## ③ 掃部の碑

保春院(最上義光の妹義姫、伊達政宗の母)の警護役として仕えた武将加藤掃部左衛門清次の碑。清次は親友江口光清が畑谷城で上杉軍に討たれたことに憤激し、長谷堂合戦に参戦したが、長谷堂城の北方で戦死。  
※本沢コミュニティセンターから徒歩10分

## ④ 湯目の碑

伊達政宗の命により来援し、遅沢川付近で上杉軍と奮戦討死した伊達家家臣湯目加賀守重日の碑。  
※山形医療技術専門学校(山形市大字前明石字水367)から徒歩5分

## ⑤ 清源寺

(山形市大字長谷堂3455-7)  
内陸では最大のスケールを誇る朱塗の仁王門、室町時代の大梵鐘楼堂がそびえる曹洞宗の大寺。長谷堂城主志村伊豆守光安の牌所となった寺院。最上家の武将で、志村伊豆守の後の長谷堂城主の坂紀伊守の墓所。  
※本沢コミュニティセンターから徒歩15分

## ⑥ 直江山城守本陣跡

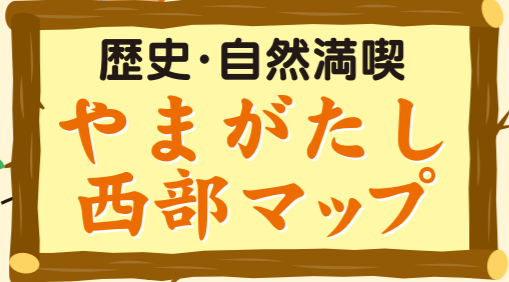
直江兼続が長谷堂城を攻める際、半月の間、本陣を構えた場所。  
※澤泉寺(山形市大字菅沢2-1)から徒歩3分

## ⑦ 主水塚(柏倉)

日向山の南東麓にあり、直江軍の武将上泉主水泰綱を埋葬した場所。  
※菅沢荘(山形市すげさわの丘46)から徒歩15分

## ⑧ 柏倉八幡神社

(山形市大字柏倉910-1)  
山形地方の古社。退却する直江軍によって焼かれたが最上義光は戦勝の報恩に社殿を再建した。  
※西山形コミュニティセンターから徒歩10分



## ⑨ 長泉寺

(山形市大字門伝95)  
曹洞宗の寺院。前身は白鷹山の山岳信仰が盛んだった頃の真言宗の寺といわれる。長谷堂合戦の際に直江軍により焼き払われた。その後寺は「門伝館」の跡に移転再建された。  
※西山形コミュニティセンターから徒歩15分

## ⑩ 皆龍寺

(山形市大字門伝100)  
真宗大谷派の寺院。長谷堂合戦の際に直江軍によって焼き払われた。その後、寛永年間頃、処刑場であったこの地でキリシタン宣教師が処刑され、その供養のため、寺が現在地に移転された。  
※西山形コミュニティセンターから徒歩10分

## ⑪ 富神山

直江軍が山形城を攻める際富神山頂から眺めようとしたが、10日待っても城には霞がかかって全く見ることができなかった。そのため、この山を十日見山(とかみやま)、山形城を霞ヶ城(現霞城公園)と言われるようになった。  
※西山形コミュニティセンターから南登山口まで徒歩15分

## ⑫ 地福寺

(山形市大字門伝七ツ松3092)  
真言宗の古寺で最上家代々の守護寺として栄えた。長谷堂合戦の際に直江軍により焼き払われたとされている。観音堂の十一面観音は行基作と伝えられている。

## ⑬ 江口五兵衛光清の墓

畑谷城主の墓。直江軍が2万の大軍をもって畑谷城に攻め寄せてきた時、わずかの手勢で死守する覚悟を決めて戦ったが、江口父子は自害して落城した。  
※山形県農業総合研究センター(山形市のりが丘6060-27)から徒歩10分

## ⑭ 向田八郎左衛門の墓

畑谷城を守れとの主君最上義光の命を受け援軍として畑谷城に登ったが、時すでに遅く、落城の後だった。畑谷城落城の報を城主に伝えるべく、鬼越まで戻ってきた時、露と煙にけむった山形城を見て山形城も落城したものと勘違いし、山形城の見える鬼越で自刃した。  
※山形県農業総合研究センターから徒歩20分

## ⑮ 長岡楯跡

狐越街道からの上杉軍防備の要地。9月30日直江軍が退却する際、最上軍の追撃を受け柏倉中林山や富神山麓地帯で大激戦が展開され、その夜直江軍はこの長岡楯に宿陣した。直江軍の軍奉行溝口左馬介が柏倉中林山の戦いで重症を負い、ここで死没。その時、左馬介の首を洗ったと言われる井戸が首洗い井戸である。  
※村木沢コミュニティセンターから徒歩10分

## ⑯ 加藤掃部左衛門清次住居

(山形市大字村木沢943)  
最上義光公の家臣で、保春院(最上義光の妹義姫)が悪戸集落に住まいた時、その守護役として悪戸局屋敷の前に居住した。  
※村木沢コミュニティセンターから徒歩10分

## ⑰ 畑谷城跡

長谷堂合戦の際に畑谷城主・江口五兵衛光清が、最上義光からの合流指令を断り、城主として城を守り続けた。江口を高く評価していた直江兼続から上杉勢への協力を勧められるが、それも断った。9月12日から攻防戦が始まり、翌13日は水門が破られ二時(4時間)の攻防戦で落城。畑谷城跡は、研究者による全国的視点から「戦国期ならではの遺構を良好に保つ三十の城址」に選出されている。  
※JR山辺駅から車で20分